



第3次 糸魚川市総合計画の 策定にあたって

本市は、平成28年度に策定した第2次糸魚川市総合計画に基づき、目標とする都市像「翠の交流都市 さわやか すこやか 輝きのまち」の実現に向け、総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。

この間、人口減少や少子高齢化は一層深刻な状況となり、超高齢社会の進展や生産年齢人口の減少により、様々な場面において影響を及ぼしています。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大、地球温暖化に伴う気候変動や異常気象、台風や地震といった災害の頻発、情報化の進展による社会情勢の急速な変化、激動する国際情勢等、私たちを取り巻く社会環境の変化は、予測困難な時代に直面していることを痛感させられます。

一方で、こうした社会・経済を取り巻く様々な課題を解決するため、誰一人取り残すことのない社会の実現を目指して、「SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)」の取組が個人、団体、企業、地方公共団体、国など多様な主体のもとで進められています。

こうした時代の激しい変化や動きに対応しつつ、世界ユネスコジオパークに認定された本市の豊かな自然環境を守り、次世代につないでいくとともに、子どもから高齢者まですべての市民が幸せを実感しながら暮らし、新たな交流や賑わいの中で活力ある経済活動が営まれる持続可能な地域社会を築いていくため、まちづくりの基本指針として、令和4年度(2022年度)を初年度とする「第3次糸魚川市総合計画」を策定しました。

本計画では、「健康」「地域経済」「教育」を重点項目として、特に力を入れて取り組みます。

市民の誰もがいつまでも健康で生き生きと自分らしく暮らせるようにするとともに、持続可能な糸魚川を支えるための基盤である地域経済の維持と更なる発展を目指します。そして、未来を担う子どもたちが、予測困難な社会においても、時代の変化に対応し、自らの力で道を切り拓くことができるよう、生きる力を養う教育を推進します。

この計画が描く未来を市民や地域、事業者等の皆様と共有し、オール糸魚川でこれからのまちづくりを進めてまいりますので、今後とも一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見、ご提言をいただきました糸魚川市総合計画審議会委員の皆様をはじめ、ご尽力を賜りましたすべての皆様に心から感謝申し上げます。

令和4年3月

糸魚川市長 米田 徹